

指定管理者運営評価シート

年度	平成26年度
所管課	緑化推進課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市徐福長寿館
所在地	佐賀市金立町大字金立1197番地166
施設概要	<p>平成7年5月22日竣工 (目的) 佐賀市徐福長寿館は、歴史と文化の薫る花とみどりの街づくりを推進し、市民の健康づくりに寄与することを目的として、金立公園内に設置している。</p> <p>(主な施設等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐福長寿館 ・徐福の広場 ・徐福長寿の庭 ・薬用植物園

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人佐賀県徐福会	指定期間	開始日	平成23年10月1日
	所在地	佐賀市駅南本町2番10号		終了日	平成28年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の開館及び閉館 ・入館者の受付、接客対応 ・ツアー客の呼び込み ・入館者からの意見聴取 ・物品の販売・入場料金の徴収業務
②施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の保守点検 ・建物内の日常清掃 ・警備
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者の増員を図るため、新しく「バラ講座」や「野草、薬草観察会」、西九州大学とのコラボで内容を一新した「ふれあいハーブ園～ハーブを食する会～」や専門講師による「成人病の食事メニューを考える四季の料理講座」、「旅行で役立つ中国語、ハンゲル教室」など、幅広い客層に来館してもらえるような工夫を図っている。 ・平成27年度は、徐福長寿館開館20周年記念の年に当たり、それに先駆けて3月末に薬用植物園内に「きやら柿の会」、「金立一区サロン会」から寄贈の「イチヨウ」や「徐福のビヤクシン」その他31本の植樹、「ジャマンアイリス」「レモングラス」などのハーブや花を佐賀市、地元、一般市民と協働で記念植樹を実施。 ・広報については、市報、月刊情報誌、その他オリジナルチラシを制作して、周辺施設の金立SAや市立図書館、公民館、アバンセに配布し周知・誘客を図っている。

施設利用状況(量)を示す指標名		単位	指定期間中の実績			
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①	入館者数	人	3,437	4,521	3,152	3,692
②						
③						
④						
⑤						

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
1. 入館する来館者から直接意見を聞いている。 2. 各講座の受講者からアンケートを収集し意見の把握をしている。	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
1. 薬草の販売はしていませんか。 2. 野草、薬草の講座を増やしてほしい。	1. 販売はしていないので、ハーブ専門店を紹介している。 2. 専門講師による、薬草園やコスモス園などを散策する観察会やバラ教室など新講座を新設した。
3. 徐福長寿館の周辺に見どころはありますか。	3. 東名遺跡、丸山遺跡、金立山、金立上宮・下宮、お辰観音等の地図を配布して周遊を促している。
4. ゆめさが大学の講座認定証明はされますか。	4. 徐福長寿館の講座を受講される方には、ゆめさが大学から事前に預かっている講座受講認定のシールを配布している。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	
指定管理料	4,997	9,994	9,994	10,280	/
うち修繕費	192	172	197	277	
うち備品費	0	0	0	0	
うち光熱水費	0	0	0	0	
摘要(補足説明等)					

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	
使用料					/
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	0	0	0	0	
摘要(補足説明等)					

7 指定管理者の自己評価

今年度は、昨年度の3,152人に比べて540人の増員で3,692人(前年度比117%)となった。これは、新しく「バラ講座」や「野草、薬草観察会」、西九州大学とのコラボで内容を一新した「ふれあいハーブ園～ハーブを食する会～」や専門講師による「成人病の食事メニューを考える四季の料理講座」など、ニーズに沿った講座を実施したことも一因だと考えている。また、金立SAに協力を得て、金立SAでの「金立こいの広場」から「徐福長寿館」への回遊案内を行ったり、薬草茶の試飲サービス等を実施したりして、誘客に努めた。

アジアからの誘客については、中国国際旅行社の福岡事務所へ上海からの観光客の送客を依頼した結果、11月頃から、団体客が徐々に増加し、前年度の215人から642人(前年度比298%)に増加してきている。これからも引き続き各旅行業者への働きかけ、新講座の導入、館内資料の充実、SNS等を活用した情報発信を行い、入館者増加に努める。

8 市による指定管理者の評価

入館者からのニーズを汲み取り、新講座の考案、実施をしており、リピーターの確保に努めている点で評価できる。また、アジアからの誘客についても、中国・韓国に交渉やPRを粘り強く行っていた結果、尖閣諸島問題で低迷していた団体客の回復に徐々につながったものと感じている。今後も、隣接した金立SAとの連携やSNSなどを活用した情報発信などを通して、更なる入館者数の増加に努めていただきたい。